

これまでも、これからも、地域とともに JA 秋田ふるさとは総合事業を展開します

協同組合とは、組合員の一人ひとりが力をあわせ、みんなの願いをかなえていく組織です。

JA は、農業者（正組合員）が組織する協同組合です。農業者の営農と生活を支えるため、様々な事業を総合的に展開しています。農業者の所得向上や地域農業の振興を目的に、農産物の販売や、信用事業（JA バンク）、共済事業（JA 共済）などの様々な事業を、営農相談やくらしの相談活動を通じて、総合的に結びつけ、地域農業の振興や地域づくりに取り組んでいます。

農業者以外の方で、地域農業の発展や地域づくり、ニッポンの食を応援していただける方は、地域農業の応援団として准組合員として加入いただいております。

信用事業や共済事業などを含めた総合事業全体の収支のなかで実施しているからこそ、JA の経営基盤が安定し、営農指導員の配置や多額の農業施設投資が可能です。

いわば、農業者と地域農業の応援団で、JA の総合事業を通じて地域の農業とくらし、みんなの願いをかなえる取り組みを支えあっています。

● JA 秋田ふるさとの中期3カ年計画基本方針は次の通りです。

- I 「農業者の所得増大」と「農業生産の拡大」
- II 協同組合の特性を活かした地域・社会への貢献
- III 地域農業の担い手と連携した JA 地域営農戦略の着実な実践
- IV 不断の改革を支える JA 組織・経営基盤を確立

●基本方針の実現に向け、ここでは主に基本方針Ⅰの「農業者の所得増大」と「農業生産の拡大」を中心に JA の主な取り組みの一部を次にご紹介します。（目標値等は令和元年度）

～有利販売による販売単価のアップ・生産量の拡大・生産コストの引き下げ～

稲作 稲作GOGO運動の継続

安定収量確保のための栽培暦の作成・配付

1等米比率の向上

（目標値：平均単収 570 kg 以上／省力化と資材コスト 5% 以上抑制／1等米比率 95% 以上）

園芸 協調販売体制の充実

オール秋田ふるさと産を前面に複数品による協調販売の実施

市場集約による協調販売の実施

オール秋田産複数品目での総合キャンペーンの開催

（目標：販売戦略会議の開催＝2回／重点市場でのトップセールス＝2回／重点市場経由のスーパーでの総合キャンペーン企画＝7月、11月）

果樹 異常気象、病害虫に強い生産体制の確立

行政との連携強化による異常気象発生時にバックアップ可能な体制整備

（目標：市、指導機関、JA が一体の組織の立ち上げ）

「黒星病」防除対策の指導徹底（目標：指導機関と連携の上、20回以上の巡回指導）

畜産 国の施策を見据えた構築連携の推進

管内水田ホールクロップサイレージの需給調整機能の発揮（目標：需給調整検討会の開催＝1回）

飼料作物の適正作付け誘導（目標値：水田 WCS＝11ha／デントコーン＝8㍏）

なお、当 JA の営農指導事業の主な取り組みは上記項目を含め次の通りで、令和元年度の予算額は 71,029 千円となっています。

売り切れる米・産地づくりの実践（稲作）／選任指導員・FAST・営農センターが一体となった営農指導の強化（全般）／農業IoTを利用した新たな栽培指導技術の構築（園芸）／新規作付け者の拡大と定年帰農者向け作付け推進（園芸）／中山間地向け作付け推進（園芸）／行政との連携強化（園芸）／集荷向上運動の展開（果樹）／畜産農家所得向上支援（畜産）／補助事業の活用による経営規模拡大と環境の充実（畜産）